



基本事項をご確認ください Setup and administration

NetApp
April 26, 2024

目次

基本事項をご確認ください	1
BlueXPの詳細をご覧ください	1
BlueXPアカウントの詳細をご確認ください	3
コネクタについて説明します	7
BlueXPの導入モードについて説明します	12

基本事項をご確認ください

BlueXPの詳細をご覧ください

NetApp BlueXPは、オンプレミス環境とクラウド環境にわたってデータの構築、保護、ガバナンスを支援する単一のコントロールプレーンです。BlueXP SaaSプラットフォームには、ストレージ管理、データモビリティ、データ保護、データ分析と制御を提供するサービスが含まれています。管理機能は、WebベースのコンソールとAPIを介して提供されます。

機能

BlueXPプラットフォームは、データ管理において、ストレージ、モビリティ、保護、分析と制御という4つの主要な柱を提供します。

ストレージ

AWS、Azure、Google Cloud、オンプレミスのいずれであっても、ストレージを検出、導入、管理できます。

- をセットアップして使用します ["Cloud Volumes ONTAP"](#) 複数のクラウドにわたって効率的なマルチプロトコルデータ管理を実現します。
- クラウドファイルストレージサービスをセットアップして使用
 - ["Azure NetApp Files の特長"](#)
 - ["ONTAP 対応の Amazon FSX"](#)
 - ["Cloud Volumes Service for Google Cloud"](#)
- 検出と管理 ["オンプレミスストレージ"](#) :
 - Eシリーズシステム
 - ONTAP クラスタ
 - StorageGRID システム

モビリティ

データを同期、コピー、階層化、キャッシュすることで、必要な場所にデータを移動できます。

- ["コピーと同期"](#)
- ["エッジキャッシュ"](#)
- ["階層化"](#)

保護

自動化された保護メカニズムを使用して、データ損失、計画外停止、ランサムウェアなどのサイバー脅威からデータを保護します。

- ["バックアップとリカバリ"](#)
- ["レプリケーション"](#)

- ["Kubernetesワークロードのデータ保護"](#)

分析と管理

ツールを使用して、データストレージとインフラを監視、マッピング、最適化できます。実用的な情報を取得して、ストレージの健全性、耐障害性、経済性を最適化します。

- ["分類"](#)
- ["デジタルアドバイザー"](#)
- ["経済効率"](#)
- ["運用の耐障害性"](#)

["BlueXPを活用して組織を支援する方法をご紹介します"](#)

サポートされているクラウドプロバイダ

BlueXPを使用すると、クラウドストレージを管理し、Amazon Web Services、Microsoft Azure、Google Cloudでクラウドサービスを使用できます。

コスト

BlueXPの価格は、使用する予定のサービスによって異なります。 ["BlueXPの価格設定についてはこちらをご覧ください"](#)

BlueXPの仕組み

BlueXPには、SaaSレイヤを通じて提供されるWebベースのコンソール、マルチテナンシーを提供するアカウント、作業環境を管理してBlueXPクラウドサービスを有効にするコネクタが含まれています。

ソフトウェアサービス

BlueXPには、からアクセスできます ["Webベースのコンソール"](#) APIを使用できます。このSaaSエクスペリエンスでは、リリースされた最新機能に自動的にアクセスし、BlueXPアカウントとコネクタを簡単に切り替えることができます。

BlueXPアカウント

BlueXPに初めてログインすると、_BlueXPアカウント_を作成するように求められます。このアカウントはマルチテナンシーを提供し、分離されたワークスペース内でユーザとリソースを整理することができます。

["アカウントの詳細については、こちらをご覧ください"](#)。

コネクタ

BlueXPの使用を開始するにはコネクタは必要ありませんが、コネクタを作成してBlueXPのすべての機能とサービスを有効にする必要があります。コネクタにより、オンプレミス環境とクラウド環境にわたってリソースとプロセスを管理できます。作業環境（Cloud Volumes ONTAPクラスタやオンプレミスのONTAPクラスタなど）の管理や、BlueXPの多くのデータサービスの使用が必要です。

["コネクタの詳細については、こちらをご覧ください"](#)。

制限モードとプライベートモード

BlueXPは、セキュリティや接続が制限されている環境でもサポートされます。restricted mode_or_private mode__を使用して、アウトバウンド接続をBlueXP SaaSレイヤへの制限できます。

"BlueXPの導入モードの詳細については、こちらをご覧ください"。

SOC 2 Type 2 認定

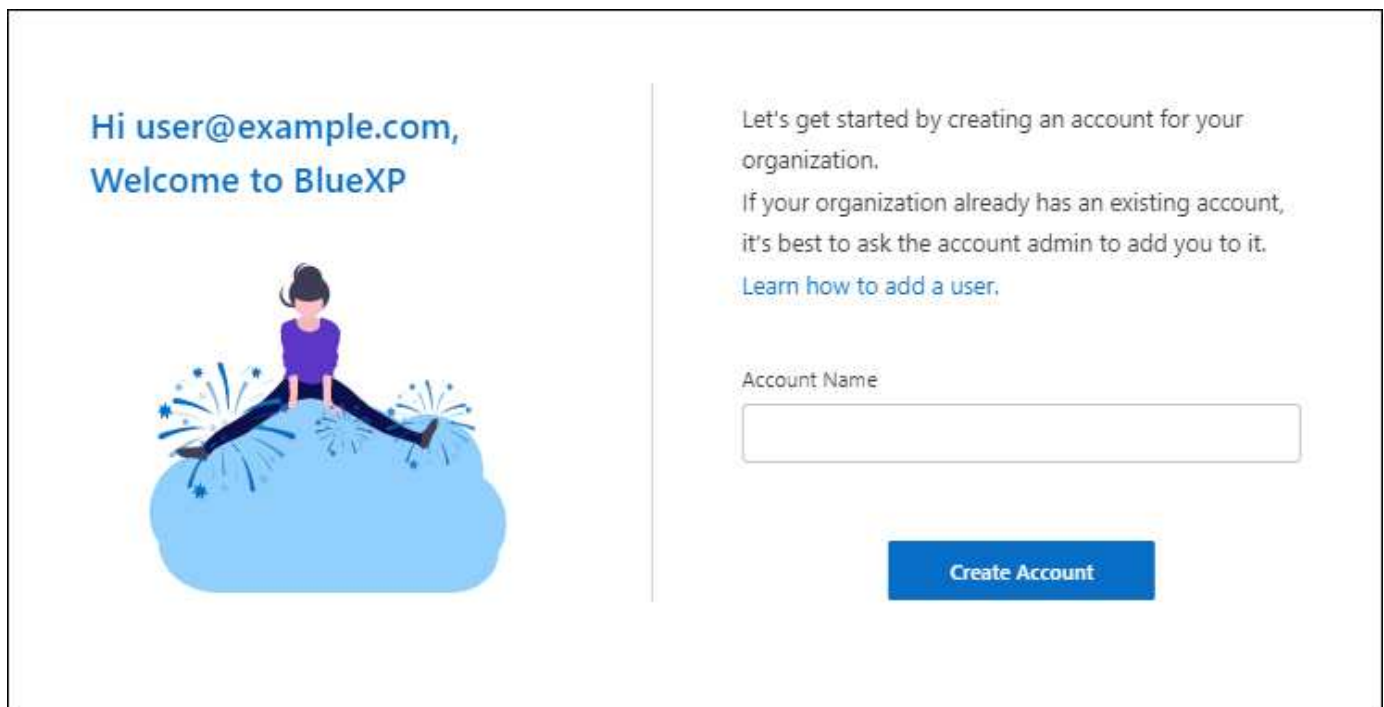
独立した公認会計士事務所およびサービス監査人がBlueXPを調査し、該当するトラストサービスの基準に基づいてSOC 2 Type 2レポートを達成したことを確認しました。

"ネットアップの SOC 2 レポートをご覧ください"

BlueXPアカウントの詳細をご確認ください

A_BlueXPアカウント_は組織にマルチテナンシーを提供するため、isolated_workspaces_でユーザとリソースを整理できます。たとえば、ユーザーのグループは、別のワークスペースで作業環境を管理するユーザーには表示されないワークスペースにCloud Volumes ONTAP作業環境を展開および管理できます。

BlueXPに初めてアクセスすると、アカウントを選択または作成するように求められます。たとえば、まだアカウントを持っていない場合は、次の画面が表示されます。

The image shows a user interface for creating a BlueXP account. On the left, there is a greeting: "Hi user@example.com, Welcome to BlueXP" above an illustration of a person sitting on a blue cloud with sparks around them. On the right, there is instructional text: "Let's get started by creating an account for your organization. If your organization already has an existing account, it's best to ask the account admin to add you to it. Learn how to add a user." Below this text is a text input field labeled "Account Name" and a blue button labeled "Create Account".

Hi user@example.com,
Welcome to BlueXP

Let's get started by creating an account for your organization.
If your organization already has an existing account, it's best to ask the account admin to add you to it.
[Learn how to add a user.](#)

Account Name

Create Account

BlueXPアカウント管理者は'ユーザー(メンバー)'ワークスペース'およびコネクタを管理することでこのアカウントの設定を変更できます



"BlueXPアカウントの管理方法をご紹介します"。

展開モード

BlueXPには、アカウントに標準モード、制限モード、プライベートモードの導入モードが用意されています。これらのモードは、さまざまなレベルのセキュリティおよび接続制限を持つ環境をサポートします。

"BlueXPの導入モードの詳細については、こちらをご覧ください"。

メンバー

メンバーとは、BlueXPアカウントに関連付けるBlueXPユーザです。ユーザーをアカウントと1つ以上のワークスペースに関連付けることで、これらのユーザーは作業環境をBlueXPで作成および管理できます。

ユーザに関連付けると、ユーザにロールが割り当てられます。

- *Account Admin*: BlueXPではどのようなアクションでも実行できます。
- *_ワークスペース管理者_* : 割り当てられたワークスペースでリソースを作成および管理できます。
- *Compliance Viewer* : BlueXP分類のコンプライアンス情報のみを表示し、アクセス権限があるワークスペースのレポートを生成できます。

"これらの役割の詳細については、こちらをご覧ください"。

ワークスペース

BlueXPでは、ワークスペースによって、*_working environments_* の数がアカウントの他のユーザから分離されます。アカウント管理者がそのワークスペースに管理者を関連付けないと、ワークスペース管理者はワークスペース内の作業環境にアクセスできません。

作業環境はストレージシステムを表します。例：

- Cloud Volumes ONTAP システム
- オンプレミスのONTAP クラスタ
- Kubernetesクラスタ

["ワークスペースを追加する方法について説明します"](#)。

コネクタ

コネクタは、データインフラを管理するためにBlueXPが実行する必要があるアクションを実行します。コネクタは、クラウドプロバイダに導入した仮想マシンインスタンス、または設定したオンプレミスホストで実行されます。

コネクタは複数のBlueXPサービスで使用できます。たとえば、Cloud Volumes ONTAP の管理にコネクタを使用している場合は、同じコネクタをBlueXP階層化などの別のサービスで使用できます。

["コネクタの詳細については、こちらをご覧ください"](#)。

例

次の例は、アカウントの設定方法を示しています。



以降の例の画像では、コネクタとCloud Volumes ONTAP システムは実際にはBlueXPアカウントには存在しません。これらはクラウドプロバイダで実行されています。これは、各コンポーネント間の関係の概念図です。

複数のワークスペース

次の例は、2つのワークスペースを使用して分離された環境を作成するアカウントを示しています。1つ目のワークスペースは本番環境用で、2つ目のワークスペースは開発環境用です。

Account



複数のアカウント

別の例では、2つのBlueXPアカウントを使用して、最高レベルのマルチテナンシーを実現しています。たとえば、あるアカウントでBlueXPを使用して顧客にサービスを提供しながら、別のアカウントを使用して事業部門の1つにディザスタリカバリを提供することができます。

アカウント2には2つのコネクタがあります。これは、システムが別々の地域にある場合や、別々のクラウドプロバイダにある場合に発生することがあります。



コネクタについて説明します

A_connector_は、クラウドネットワークまたはオンプレミスネットワークで実行されるネットアップのソフトウェアです。データインフラを管理するためにBlueXPが実行する必要のあるアクションを実行します。Connectorは、必要なアクションについてBlueXP SaaSレイヤを定期的にポーリングします。BlueXPの使用を開始するにはコネクタは必要ありませんが、コネクタを作成してBlueXPのすべての機能とサービスを有効にする必要があります。

コネクタなしでできること

BlueXPの使用を開始するためにコネクタは必要ありません。コネクタを作成することなく、BlueXPで複数の機能やサービスを使用できます。

コネクタなしでBlueXPの次の機能とサービスを使用できます。

- Amazon FSx for NetApp ONTAP 作業環境の作成

コネクタは作業環境の作成には必要ありませんが、ボリュームの作成と管理、データのレプリケート、FSx for ONTAP とBlueXPの分類やコピーと同期などのサービスの統合を行う必要があります。

- 自動化カタログ
- Azure NetApp Files の特長

Azure NetApp Files のセットアップと管理にコネクタは必要ありませんが、BlueXP分類を使用してAzure NetApp Files データをスキャンする場合はコネクタが必要です。

- Cloud Volumes Service for Google Cloud
- コピーと同期
- デジタルアドバイザー
- デジタルウォレット

ほとんどすべての場合、コネクタなしでデジタルウォレットにライセンスを追加できます。

デジタルウォレットにライセンスを追加するためにコネクタが必要なのは、Cloud Volumes ONTAP_ノードベース_ライセンスのみです。この場合、Cloud Volumes ONTAP システムにインストールされているライセンスのデータを使用するため、コネクタが必要です。

- オンプレミスのONTAP クラスタを直接検出

オンプレミスのONTAP クラスタを直接検出する場合はコネクタは必要ありませんが、BlueXPのその他の機能を利用する場合はコネクタが必要です。

["オンプレミスのONTAP クラスタの検出オプションと管理オプションの詳細については、こちらをご覧ください"](#)

- 持続可能性

コネクタが必要な場合

BlueXPを標準モードで使用する場合、BlueXPの次の機能やサービスにはコネクタが必要です。

- ONTAP 管理機能用の Amazon FSX
- Amazon S3ストレージ
- Azure BLOBストレージ
- バックアップとリカバリ
- 分類
- Cloud Volumes ONTAP
- ディザスタリカバリ
- Eシリーズシステム
- 経済性¹
- エッジキャッシュ
- Google Cloud Storageバケット
- Kubernetes クラスタ
- 移行レポート
- オンプレミスのONTAP クラスタとBlueXPデータサービスの統合
- 運用の耐障害性¹
- ランサムウェアからの保護
- StorageGRID システム

- 階層化
- ボリュームキャッシュ

¹コネクタなしでこれらのサービスにアクセスできますが、サービスからアクションを開始するにはコネクタが必要です。

BlueXPを制限モードまたはプライベートモードで使用するには、コネクタが必要です。

コネクタは常に動作している必要があります

コネクタは、BlueXPサービスアーキテクチャの基本要素です。関連するコネクタが常に稼働し、アクセス可能であることを確認するのは、お客様の責任です。このサービスは、コネクタの可用性の短い停止を克服するように設計されていますが、インフラストラクチャの障害を修復するために必要なときにすぐに対処する必要があります。

このドキュメントにはEULAが適用されます。製品がドキュメントに従って操作されていない場合、製品の機能と操作、およびEULAに基づくお客様の権利に悪影響を及ぼす可能性があります。

Cloud Volumes ONTAP への影響

コネクタは、Cloud Volumes ONTAP の正常性と動作における重要なコンポーネントです。コネクタの電源がオフの場合は、Cloud Volumes ONTAP PAYGOシステムと容量ベースのBYOLシステムは、コネクタとの通信を14日以上切断したあとでシャットダウンします。これは、コネクタがシステムのライセンスを毎日更新するためです。

Cloud Volumes ONTAP システムにノードベースのBYOLライセンスがある場合は、ライセンスがCloud Volumes ONTAP システムにインストールされているため、14日後もシステムは実行されたままになります。

サポートされている場所

コネクタは次の場所でサポートされています。

- Amazon Web Services の
- Microsoft Azure

Azureのコネクタは、管理するCloud Volumes ONTAP システムと同じAzureリージョンまたはに導入する必要があります ["Azure リージョンペア"](#) Cloud Volumes ONTAP システム用。この要件により、Cloud Volumes ONTAP とそれに関連付けられたストレージアカウント間で Azure Private Link 接続が使用されるようになります。 ["Cloud Volumes ONTAP での Azure プライベートリンクの使用方法をご確認ください"](#)

- Google Cloud

BlueXPサービスをGoogle Cloudで使用する場合は、Google Cloudで実行されているコネクタを使用する必要があります。

- オンプレミス

制限モードとプライベートモード

BlueXPを制限モードまたはプライベートモードで使用するには、まずBlueXPでコネクタをインストールし、

コネクタでローカルに実行されているユーザインターフェイスにアクセスします。

["BlueXPの導入モードについて説明します"](#)。

コネクタを作成する方法

BlueXPアカウント管理者は、BlueXPまたはクラウドプロバイダのマーケットプレイスから直接コネクタを作成するか、自社のLinuxホストに手動でソフトウェアをインストールしてコネクタを作成できます。BlueXPを標準モード、制限モード、プライベートモードのいずれで使用しているかによって、作業を開始する方法が異なります。

- ["BlueXPの導入モードについて説明します"](#)
- ["BlueXPを標準モードで開始する"](#)
- ["制限モードでのBlueXPの使用を開始する"](#)
- ["BlueXPのプライベートモードで開始する"](#)

権限

BlueXPからコネクタを直接作成するには特定の権限が必要です。コネクタインスタンス自体には別の権限セットが必要です。AWSまたはAzureでBlueXPから直接コネクタを作成する場合は、必要な権限でコネクタがBlueXPによって作成されます。

標準モードでBlueXPを使用している場合、権限の付与方法はコネクタの作成方法によって異なります。

アクセス許可の設定方法については、以下を参照してください。

- 標準モード
 - ["AWSでのコネクタのインストールオプション"](#)
 - ["Azureでのコネクタのインストールオプション"](#)
 - ["Google Cloudでのコネクタのインストールオプション"](#)
 - ["オンプレミス環境のクラウド権限を設定"](#)
- ["制限モードの権限を設定します"](#)
- ["プライベートモードの権限を設定します"](#)

コネクタが日常的な操作に必要なとする正確な権限を表示するには、次のページを参照してください。

- ["ConnectorでのAWS権限の使用方法について説明します"](#)
- ["ConnectorでのAzure権限の使用方法について説明します"](#)
- ["ConnectorでのGoogle Cloud権限の使用方法について説明します"](#)

コネクタのアップグレード

私たちは通常、コネクタソフトウェアを毎月更新して新機能を導入し、安定性を向上させています。BlueXPプラットフォームのサービスと機能のほとんどはSaaSベースのソフトウェアで提供されますが、いくつかの機能はコネクタのバージョンによって異なります。Cloud Volumes ONTAP 管理、オンプレミスの ONTAP クラスタ管理、設定、ヘルプが含まれます。

標準モードまたは制限モードでBlueXPを使用すると、ソフトウェアの更新を取得するためにアウトバウンドのインターネットアクセスが確立されていれば、コネクタは自動的にソフトウェアを最新バージョンに更新します。BlueXPをプライベートモードで使用している場合は、コネクタを手動でアップグレードする必要があります。

"コネクタソフトウェアを手動でアップグレードする方法について説明します"。

オペレーティングシステムとVMのメンテナンス

コネクタホストでのオペレーティングシステムの保守はお客様の責任で行ってください。たとえば、オペレーティングシステムの配布に関する会社の標準手順に従って、コネクタホストのオペレーティングシステムにセキュリティ更新プログラムを適用する必要があります。

OSの更新を実行するときは、コネクタホスト上のサービスを停止する必要はありません。

コネクタVMを停止してから起動する必要がある場合は、クラウドプロバイダのコンソールから、またはオンプレミス管理の標準手順を使用して起動する必要があります。

コネクタは常に動作している必要があることに注意してください。

複数の作業環境

コネクタは、BlueXPで複数の作業環境を管理できます。1つのコネクタで管理できる作業環境の最大数は、環境によって異なります。管理対象は、作業環境の種類、ボリュームの数、管理対象の容量、ユーザの数によって異なります。

大規模な導入の場合は、ネットアップの担当者にご相談のうえ、環境のサイジングを行ってください。途中で問題が発生した場合は、製品内のチャットでお問い合わせください。

複数のコネクタ

コネクタが1つしか必要ない場合もありますが、2つ以上のコネクタが必要な場合もあります。

次にいくつかの例を示します。

- マルチクラウド環境（AWSやAzureなど）で、コネクタの1つをAWSに、もう1つをAzureに配置したいと考えています。各で、それらの環境で実行される Cloud Volumes ONTAP システムを管理します。
- サービスプロバイダは、1つのBlueXPアカウントを使用してお客様にサービスを提供し、別のアカウントを使用してビジネスユニットのディザスタリカバリを提供することができます。アカウントごとに個別のコネクタがあります。

いつスイッチするか

最初のコネクタを作成すると、作成した追加の作業環境ごとにそのコネクタが自動的に使用されます。コネクタを追加で作成したら、コネクタを切り替えることで各コネクタに固有の作業環境を確認する必要があります。

"コネクタを切り替える方法について説明します"。

ディザスタリカバリ

ディザスタリカバリ目的で、複数のコネクタを備えた作業環境を同時に管理できます。一方のコネクタが停止した場合は、もう一方のコネクタに切り替えて、作業環境をただちに管理できます。

この構成をセットアップするには：

1. ["別のコネクタに切り替えます"](#)。
2. 既存の作業環境を検出
 - ["既存のCloud Volumes ONTAP システムをBlueXPに追加します"](#)
 - ["ONTAP クラスタを検出"](#)
3. を設定します ["Capacity Management Mode（容量管理モード）"](#)

メインコネクタのみ * オートマチックモード * に設定する必要があります。DR 目的で別のコネクタに切り替える場合は、必要に応じて容量管理モードを変更できます。

BlueXPの導入モードについて説明します

BlueXPには複数の 導入モード が用意されており、ビジネス要件やセキュリティ要件を満たす方法でBlueXPを使用できます。Standard modeはBlueXP SaaSレイヤを活用してすべての機能を提供しますが、restricted mode_and_private modeは接続が制限されている組織で使用できます。

制限モードまたはプライベートモードを使用している場合、BlueXPではトラフィック、通信、データのフローが禁止されますが、環境（オンプレミスとクラウド内）が必要な規制に準拠していることを確認するのはお客様の責任です。

概要

BlueXPには、お客様のアカウントに次の導入モードが用意されています。各モードは、アウトバウンド接続要件、導入場所、インストールプロセス、認証方法、使用可能なデータサービスとストレージサービス、課金方法の点で異なります。

標準モード

BlueXPは、Webベースのコンソールからクラウドサービスとしてアクセスできます。使用するBlueXPサービスに応じて、BlueXP管理者はハイブリッドクラウド環境内のデータを管理するためのコネクタを1つ以上作成します。

このモードでは、パブリックインターネットを介した暗号化されたデータ転送が使用されます。

制限モード

BlueXP Connectorはクラウド（行政リージョン、主権あるクラウドリージョン、商用リージョン）にインストールされ、BlueXPのSaaSレイヤへのアウトバウンド接続に制限があります。BlueXPには、SaaSレイヤではなくコネクタからアクセスできるWebベースのコンソールからローカルにアクセスします。

このモードは通常、州や地方自治体や規制された企業で使用されます。

[SaaSレイヤへのアウトバウンド接続の詳細については、こちらをご覧ください。](#)

プライベートモード

BlueXP Connectorはオンプレミスまたはクラウド（セキュアなリージョン、ソブリンククラウドリージョン、商用リージョン）にインストールされ、BlueXP SaaSレイヤへの_no_connectivityがあります。BlueXPには、SaaSレイヤではなくコネクタからアクセスできるWebベースのコンソールからローカルにアクセスします。

セキュアなリージョンには、が含まれます **"AWSシークレットクラウド"**、 **"AWSのトップシークレットクラウド"**および **"Azure IL6"**

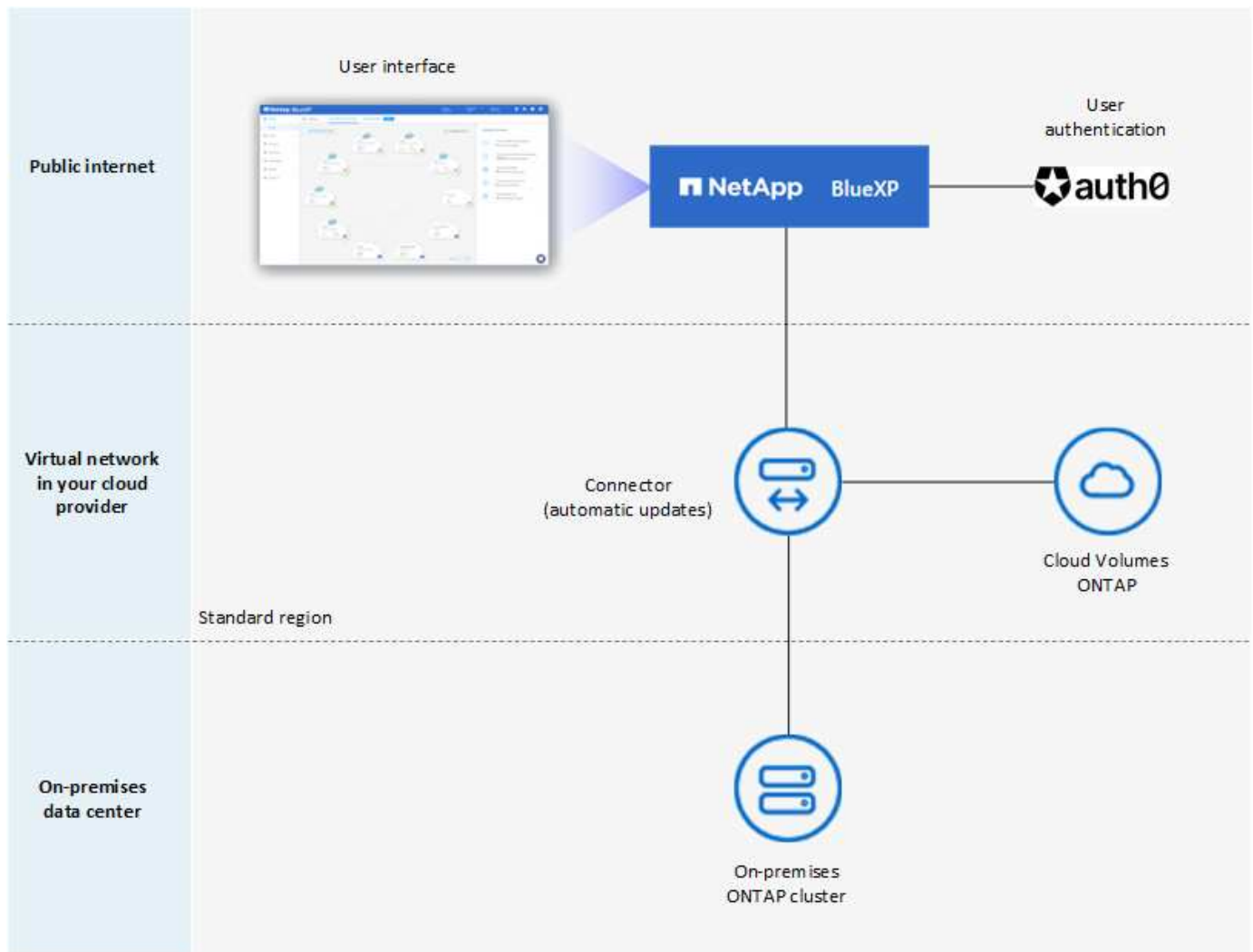
次の表に、これらのモードの比較を示します。

	標準モード	制限モード	プライベートモード
BlueXPのSaaSレイヤへの接続が必要ですか？	はい。	アウトバウンドのみ	いいえ
クラウドプロバイダへの接続が必要ですか？	はい。	はい、地域内です	○（リージョン内）（Cloud Volumes ONTAP を使用している場合）
コネクタの取り付け	BlueXP、クラウドマーケットプレイス、手動インストールから選択できます	クラウドマーケットプレイスまたは手動インストール	手動インストール
コネクタのアップグレード	NetApp Connectorソフトウェアの自動アップグレード	NetApp Connectorソフトウェアの自動アップグレード	手動アップグレードが必要です
UI アクセス	BlueXPのSaaSレイヤからアクセスします	コネクタVMからローカルに	コネクタVMからローカルに
API エンドポイント	BlueXPのSaaSレイヤ	コネクタ	コネクタ
認証	SaaS経由（Auth0、NSSログイン、アイデンティティフェデレーションを使用	Auth0またはアイデンティティフェデレーションを使用してSaaSを介して	ローカルユーザ認証
ストレージサービスとデータサービス	すべてがサポートされています	多数サポートされています	いくつかサポートされています
ライセンスオプション	マーケットプレイスのサブスクリプションとBYOL	マーケットプレイスのサブスクリプションとBYOL	BYOL

これらのモードの詳細（サポートされるBlueXPの機能やサービスなど）については、以降のセクションで確認してください。

標準モード

次の図は、標準モードの配置の例です。



BlueXPは、標準モードで次のように機能します。

アウトバウンド通信

コネクタからBlueXP SaaSレイヤ、クラウドプロバイダが一般に公開しているリソース、および日常業務に欠かせないその他のコンポーネントへの接続が必要です。

- "コネクタがAWSで接続するエンドポイント"
- "コネクタがAzureで接続するエンドポイント"
- "コネクタがGoogle Cloudで接続するエンドポイント"

コネクタのサポートされている場所

標準モードでは、コネクタはクラウドまたはオンプレミスでサポートされます。

コネクタの取り付け

コネクタのインストールは、BlueXPのセットアップウィザード、AWSまたはAzure Marketplaceから実行できます。また、インストーラを使用して、データセンターまたはクラウドの自社のLinuxホストにコネクタを手動でインストールすることもできます。

コネクタのアップグレード

Connectorソフトウェアの自動アップグレードは、毎月更新されるBlueXPから利用できます。

ユーザインターフェイスアクセス

ユーザインターフェイスには、SaaSレイヤを通じて提供されるWebベースのコンソールからアクセスできます。

APIエンドポイント

次のエンドポイントに対してAPI呼び出しが実行されます。

<https://cloudmanager.cloud.netapp.com>

認証

認証は、BlueXPのクラウドサービスでAuth0またはNetApp Support Site（NSS）ログインを使用して行われます。アイデンティティフェデレーションを使用できます。

サポートされるBlueXPサービス

ユーザはすべてのBlueXPサービスを利用できます。

サポートされるライセンスオプション

MarketplaceのサブスクリプションとBYOLはStandardモードでサポートされますが、サポートされるライセンスオプションは、使用しているBlueXPサービスによって異なります。使用可能なライセンスオプションの詳細については、各サービスのドキュメントを参照してください。

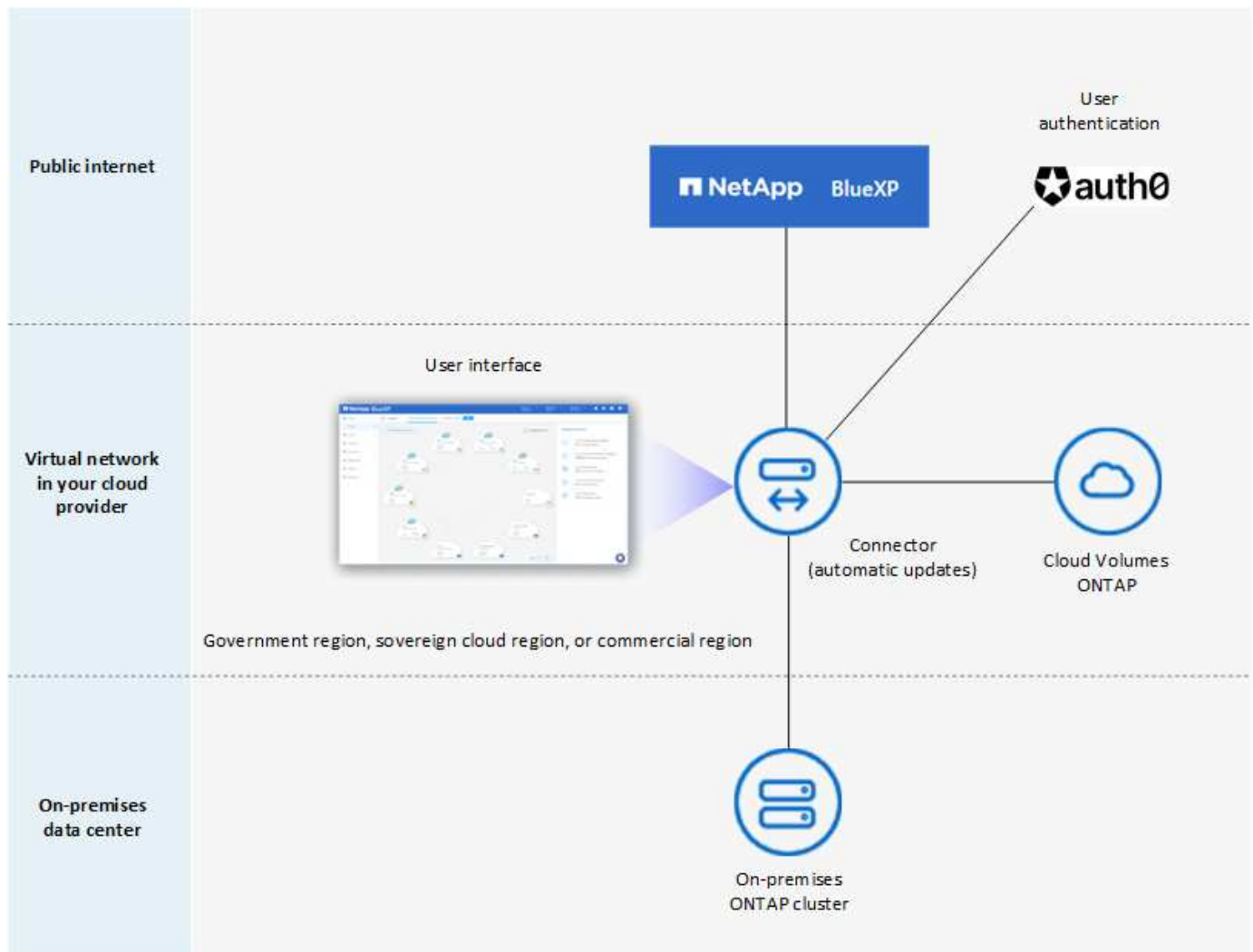
標準モードで開始する方法

にアクセスします ["WebベースのBlueXPコンソール"](#) 登録してください。

["標準モードを使用する方法について説明します"](#)。

制限モード

次の図は、制限モードの配置の例です。



BlueXPは、制限モードでは次のように機能します。

アウトバウンド通信

BlueXPデータサービスの使用、コネクタの自動ソフトウェアアップグレードの有効化、Auth0ベースの認証の使用、課金用のメタデータ（Storage VM名、割り当て容量、ボリュームのUUID、タイプ、IOPS）の送信には、コネクタからBlueXP SaaSレイヤへのアウトバウンド接続が必要です。

SaaSレイヤのBlueXPでは、コネクタとの通信は開始されません。すべての通信はコネクタによって開始され、コネクタは必要に応じてSaaSレイヤとの間でデータを取得またはプッシュできます。

リージョン内のクラウドプロバイダリソースへの接続も必要です。

コネクタのサポートされている場所

制限モードでは、コネクタはクラウド（政府地域、主権地域、または商業地域）でサポートされます。

コネクタの取り付け

Connectorのインストールは、AWSまたはAzure Marketplaceから行うことも、手動で独自のLinuxホストにインストールすることもできます。

コネクタのアップグレード

Connectorソフトウェアの自動アップグレードは、毎月更新されるBlueXPから利用できます。

ユーザインターフェイスアクセス

ユーザインターフェイスには、クラウドリージョンに導入されているコネクタ仮想マシンからアクセスできます。

APIエンドポイント

コネクタ仮想マシンに対してAPI呼び出しが実行されます。

認証

認証は、BlueXPのクラウドサービスを通じて、Auth0を使用して行われます。アイデンティティフェデレーションも使用できます。

サポートされるBlueXPサービス

BlueXPでは、制限モードで次のストレージサービスとデータサービスがサポートされます。

サポートされるサービス	注：
ONTAP 対応の Amazon FSX	フルサポート
Azure NetApp Files の特長	フルサポート
バックアップとリカバリ	<p>制限モードの政府地域および商用地域でサポートされています。制限モードの主権領域ではサポートされていません。</p> <p>制限モードでは、BlueXPのバックアップとリカバリでONTAPボリュームのデータのバックアップとリストアのみがサポートされます。 "ONTAPデータでサポートされるバックアップデスティネーションのリストを表示する"</p> <p>アプリケーションデータ、仮想マシンデータ、およびKubernetesデータのバックアップとリストアはサポートされていません。</p>
分類	<p>制限モードの政府機関地域でサポートされます。商用リージョンまたは制限モードのソブリンリージョンではサポートされていません。</p> <p>次の制限事項が適用されます。</p> <ul style="list-style-type: none">• OneDriveアカウント、SharePointアカウント、Googleドライブアカウントはスキャンできません。• Microsoft Azure Information Protection (AIP) ラベル機能を統合できません。
Cloud Volumes ONTAP	フルサポート
デジタルウォレット	デジタルウォレットは、制限モードでサポートされている以下のライセンスオプションで使用できます。

サポートされるサービス	注：
オンプレミスの ONTAP クラスタ	<p>コネクタを使用した検出とコネクタを使用しない検出（直接検出）の両方がサポートされます。</p> <p>コネクタを備えたオンプレミスクラスタを検出した場合、アドバンストビュー（System Manager）はサポートされません。</p>
レプリケーション	制限モードの政府機関地域でサポートされます。商用リージョンまたは制限モードのソブリンリージョンではサポートされていません。

サポートされるライセンスオプション

制限モードでは、次のライセンスオプションがサポートされます。

- マーケットプレイスのサブスクリプション（時間単位および年単位の契約）

次の点に注意してください。

- Cloud Volumes ONTAP では、容量単位のライセンスのみがサポートされます。
- Azureでは、政府機関の地域との年間契約はサポートされていません。

- BYOL

Cloud Volumes ONTAP の場合、BYOLでは容量単位のライセンスとノード単位のライセンスの両方がサポートされます。

制限モードの使用を開始する方法

BlueXPアカウントの作成時に制限モードを有効にする必要があります。

まだアカウントをお持ちでない場合は、手動でインストールしたコネクタまたはクラウドプロバイダのマーケットプレイスから作成したコネクタからBlueXPに初めてログインするときに、アカウントを作成して制限モードを有効にするように求められます。

すでにアカウントを持っていて、別のアカウントを作成する場合は、Tenancy APIを使用する必要があります。

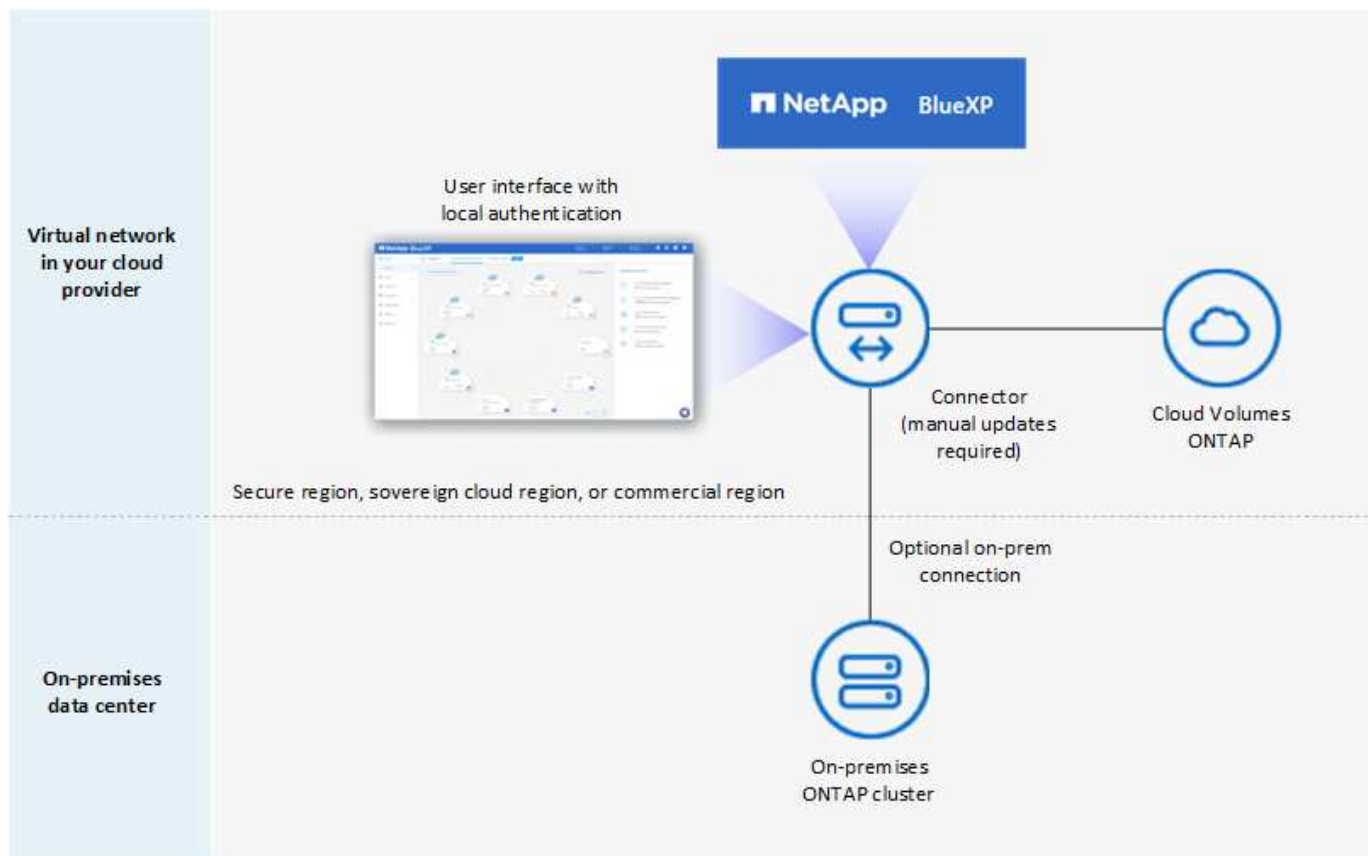
制限モードの設定は、BlueXPでアカウントが作成されたあとは変更できません。制限モードは後で有効にすることも、後で無効にすることもできません。アカウント作成時に設定する必要があります。

- ["制限モードの使用を開始する方法について説明します"](#)。
- ["BlueXPアカウントを追加で作成する方法をご紹介します"](#)。

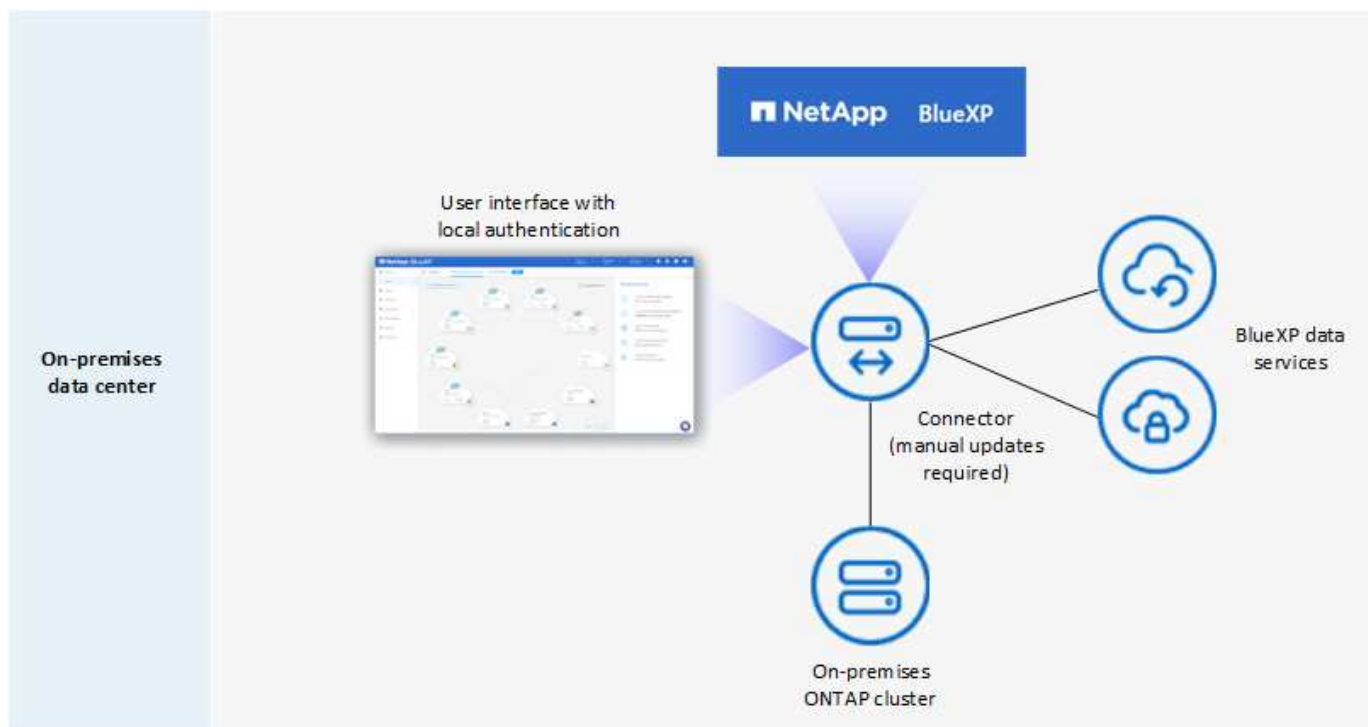
プライベートモード

プライベートモードでは、オンプレミスまたはクラウドにコネクタをインストールし、BlueXPを使用してハイブリッドクラウド全体のデータを管理できます。BlueXP SaaSレイヤへの接続はありません。

次の図は、コネクタをクラウドにインストールし、Cloud Volumes ONTAP とオンプレミスのONTAP クラスタの両方を管理するプライベートモードの導入例を示しています。



一方、2つ目の図はプライベートモードの環境の例を示しています。この環境では、コネクタをオンプレミスにインストールし、オンプレミスのONTAP クラスターを管理し、サポートされているBlueXPデータサービスへのアクセスを提供します。



BlueXPはプライベートモードで次のように機能します。

アウトバウンド通信

BlueXP SaaSレイヤへのアウトバウンド接続は必要ありません。すべてのパッケージ、依存関係、および必須コンポーネントはコネクタとともにパッケージ化され、ローカルマシンから提供されます。クラウドプロバイダの一般に利用可能なリソースへの接続は、Cloud Volumes ONTAPを導入する場合にのみ必要です。

コネクタのサポートされている場所

プライベートモードでは、コネクタはクラウドまたはオンプレミスでサポートされます。

コネクタの取り付け

コネクタの手動インストールは、クラウドまたはオンプレミスの独自のLinuxホストでサポートされています。

コネクタのアップグレード

コネクタソフトウェアを手動でアップグレードする必要があります。コネクタソフトウェアは、未定義の間隔でNetApp Support Site にパブリッシュされます。

ユーザインターフェイスアクセス

ユーザインターフェイスには、クラウドリージョンまたはオンプレミスに導入されているコネクタからアクセスできます。

APIエンドポイント

コネクタ仮想マシンに対してAPI呼び出しが実行されます。

認証

認証は、ローカルユーザの管理とアクセスを通じて提供されます。BlueXPのクラウドサービスでは認証が行われません。

クラウド環境でサポートされるBlueXPサービス

BlueXPでは、コネクタがクラウドにインストールされている場合、プライベートモードで次のストレージサービスとデータサービスがサポートされます。

サポートされるサービス	注：
バックアップとリカバリ	<p>AWSとAzureの商用リージョンでサポートされます。</p> <p>Google Cloudまたはではサポートされていません "AWSシークレットクラウド"、"AWSのトップシークレットクラウド"または "Azure IL6"</p> <p>プライベートモードでは、BlueXPのバックアップとリカバリでONTAPボリュームのデータのバックアップとリストアのみがサポートされます。"ONTAPデータでサポートされるバックアップデスティネーションのリストを表示する"</p> <p>アプリケーションデータ、仮想マシンデータ、およびKubernetesデータのバックアップとリストアはサポートされていません。</p>

サポートされるサービス	注：
Cloud Volumes ONTAP	インターネットにアクセスできないため、自動ソフトウェアアップグレードとAutoSupportの機能は使用できません。
デジタルウォレット	デジタルウォレットは、プライベートモードでサポートされている以下のライセンスオプションで使用できます。
オンプレミスの ONTAP クラスタ	クラウド（コネクタがインストールされている場所）からオンプレミス環境への接続が必要 コネクタなしの検出（直接検出）はサポートされていません。

オンプレミス環境でBlueXPサービスをサポート

BlueXPでは、コネクタがオンプレミスにインストールされている場合、プライベートモードで次のストレージサービスとデータサービスがサポートされます。

サポートされるサービス	注：
バックアップとリカバリ	<p>プライベートモードでは、BlueXPのバックアップとリカバリでONTAPボリュームのデータのバックアップとリストアのみがサポートされます。</p> <p>"ONTAPボリュームデータでサポートされるバックアップデスティネーションのリストを表示する"</p> <p>アプリケーションデータ、仮想マシンデータ、およびKubernetesデータのバックアップとリストアはサポートされていません。</p>
分類	<ul style="list-style-type: none"> ローカルで検出できるデータソースは、サポートされているデータソースだけです。 <p>"ローカルで検出できるソースを表示します"</p> <ul style="list-style-type: none"> アウトバウンドインターネットアクセスを必要とする機能はサポートされていません。 <p>"機能の制限事項を確認します"</p>
デジタルウォレット	デジタルウォレットは、プライベートモードでサポートされている以下のライセンスオプションで使用できます。
オンプレミスの ONTAP クラスタ	コネクタなしの検出（直接検出）はサポートされていません。
レプリケーション	フルサポート

サポートされるライセンスオプション

プライベートモードではBYOLのみがサポートされます。

Cloud Volumes ONTAP のBYOLでは、ノードベースのライセンスのみがサポートされます。容量単位のライセンスはサポートされていません。アウトバウンドのインターネット接続を使用できないため、Cloud Volumes ONTAP ライセンスファイルをBlueXPのデジタルウォレットに手動でアップロードする必要があります。

["BlueXPデジタルウォレットにライセンスを追加する方法をご紹介します"](#)

プライベートモードを開始する方法

プライベートモードは、NetApp Support Site から「オフライン」インストーラをダウンロードすることで利用できます。

["プライベートモードの使用を開始する方法について説明します"](#)。



でBlueXPを使用する場合は ["AWSシークレットクラウド"](#) または ["AWSのトップシークレットクラウド"](#)それらの環境で作業を開始するには、別の手順に従う必要があります。 ["AWSシークレットクラウドまたはTop Secret CloudでCloud Volumes ONTAPの使用を開始する方法をご確認ください"](#)

サービスと機能の比較

次の表は、制限モードとプライベートモードでサポートされるBlueXPのサービスと機能を簡単に特定するのに役立ちます。

一部のサービスは制限付きでサポートされる場合があります。これらのサービスが制限モードおよびプライベートモードでどのようにサポートされるかの詳細については、上記の項を参照してください。

製品エリア	BlueXPのサービスまたは機能	制限モード	プライベートモード
作業環境 表の次の部分には、BlueXPキャンバスでの作業環境管理のサポートが表示されます。BlueXPのバックアップとリカバリでサポートされるバックアップ先を示すわけではありません。	ONTAP 対応の Amazon FSX	はい。	いいえ
	Amazon S3	いいえ	いいえ
	Azure Blob の略	いいえ	いいえ
	Azure NetApp Files の特長	はい。	いいえ
	Cloud Volumes ONTAP	はい。	はい。
	Cloud Volumes Service for Google Cloud	いいえ	いいえ
	Google クラウドストレージ	いいえ	いいえ
	Kubernetes クラスタ	いいえ	いいえ
	オンプレミスの ONTAP クラスタ	はい。	はい。
	E シリーズ	いいえ	いいえ
	StorageGRID	いいえ	いいえ

製品エリア	BlueXPのサービスまたは機能	制限モード	プライベートモード
* サービス *	バックアップとリカバリ	はい。 "ONTAPボリュームデータでサポートされるバックアップデスティネーションのリストを表示する"	はい。 "ONTAPボリュームデータでサポートされるバックアップデスティネーションのリストを表示する"
	分類	はい。	はい。
	クラウド運用	いいえ	いいえ
	コピーと同期	いいえ	いいえ
	デジタルアドバイザー	いいえ	いいえ
	デジタルウォレット	はい。	はい。
	ディザスタリカバリ	いいえ	いいえ
	経済効率	いいえ	いいえ
	エッジキャッシュ	いいえ	いいえ
	移行レポート	いいえ	いいえ
	運用の耐障害性	いいえ	いいえ
	ランサムウェアからの保護	いいえ	いいえ
	レプリケーション	はい。	はい。
	持続可能性	いいえ	いいえ
	階層化	いいえ	いいえ
	ボリュームキャッシュ	いいえ	いいえ
機能	クレデンシャル	はい。	はい。
	NSSアカウント	はい。	いいえ
	通知	はい。	いいえ
	検索	はい。	いいえ
	タイムライン	はい。	はい。

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。